



例題と解説

例題 1

次の10個の整数について、次の問いに答えなさい。 13, 12, 5, 53, 1, 0, 37, 26, 100, 8

- (1) これらの整数のうち偶数はどれですか。小さい順にすべて答えなさい。
- (2) これらの整数のうち奇数はどれですか。小さい順にすべて答えなさい。

答え (1) 0, 8, 12, 26, 100 (2) 1, 5, 13, 37, 53

[例題 1 の解説]

整数は0からはじまります。0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, …が整数です。

整数のうち2でわりきることができる数を偶数ぐうすうといいます。

0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, …などが偶数です。

整数のうち2でわりきることができない(2でわると1あまる)数を奇数きすうといいます。

1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, …などが奇数です。

- (1) 偶数は12, 0, 26, 100, 8です。小さい順にならべかえると、0, 8, 12, 26, 100となります。
- (2) 奇数は13, 5, 53, 1, 37です。小さい順にならべかえると、1, 5, 13, 37, 53となります。

整数はすべて偶数か奇数にわけることができます。偶数でも奇数でもない整数はありません。

偶数か奇数かは一の位だけを見ればわかります。一の位が偶数であれば偶数、奇数であれば奇数です。



例題と解説

例題2

次のア～オの計算について次の問いに答えなさい。

ア 5×2 イ 7×19 ウ 24×12 エ 14×17 オ 21×15

- (1) 計算すると偶数になるものを^{えら}選び記号で答えなさい。
(2) 計算すると奇数になるものを^{えら}選び記号で答えなさい。

答え (1) ア, ウ, エ (2) イ, オ

[例題2の解説]

偶数 $\times$ 偶数=偶数 偶数 $\times$ 奇数=偶数 奇数 $\times$ 奇数=奇数 となります。

1つでも偶数があれば積は偶数になります。奇数だけの積は奇数になります。

ア 奇数 $\times$ 偶数 イ 奇数 $\times$ 奇数 ウ 偶数 $\times$ 偶数 エ 偶数 $\times$ 奇数 オ 奇数 $\times$ 奇数

- (1) 1つでも偶数があるものを選びます。ア, ウ, エ
計算をして^{たし}確かめます。ア $5 \times 2 = 10$, ウ $24 \times 12 = 288$, エ $14 \times 17 = 238$
- (2) 奇数だけの積になっているものを選びます。イ, オ
計算をして^{たし}確かめます。イ $7 \times 19 = 133$, オ $21 \times 15 = 315$

例題3

次の計算の答えは偶数、奇数のどちらになりますか。 123×78

答え 偶数

[例題3の解説]

偶数か奇数かは一の位だけを見ればわかります。

123×78 の一の位は一の位だけのかけ算で求めることができます。 $3 \times 8 = 24$ より4となるので、偶数になります。

計算をして確かめます。 $123 \times 78 = 9594$ 。一の位が4なので偶数であることがわかります。



例題と解説

ポイントまとめ

- 整数のうち2でわりきることができる数を^{ぐうすう}偶数といいます。0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, …
- 整数のうち2でわりきることができない（2でわると1あまる）数を^{きすう}奇数といいます。1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, …
- 偶数か奇数かは一の位だけを見ればわかります。一の位が偶数であれば偶数、奇数であれば奇数です。
- 偶数×偶数＝偶数 偶数×奇数＝偶数 奇数×奇数＝奇数
- 偶数か奇数かは一の位だけを見ればわかります。